

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 新型コロナウイルス、女性への影響（30分）</p> <p>7月に閣議決定された「令和3年版厚生労働白書」では、新型コロナウイルスの感染拡大が与えた影響として、「女性への影響」を取り上げています。</p> <p>緊急事態宣言下で、非正規雇用が大きく減少したこと、子育て中の女性が休業する例も多かったことを挙げています。長引く自粛生活で増えた家事・育児の時間を、「自分の余暇を削った」と答えた女性が78%で、男性の47%に対して多かったという結果も民間シンクタンクの調査から示されています。</p> <p>警察庁統計の自殺者の年次比較では、昨年、男性は23人減っていますが、女性は935人増えていました。経済生活問題、DV被害、育児の悩みなど自殺の要因となりかねない様々な問題が新型コロナウイルス感染症の影響で深刻化し、自殺者数の増加に影響を与えている可能性等が指摘されています。</p> <p>また、労働白書の中で、バブル崩壊後の1993年から2005年までの間に卒業で就職活動に差し掛かった年代の「就職氷河期世代に対する集中支援」にも言及しています。</p> <p>当時の総務省の労働力調査で、働く女性で正社員などの正規雇用は43.7%、パートやアルバイトなどの非正規雇用が56.3%となっていました。</p> <p>女性が一人でも無理なく生きていくモデルが依然として確立されていないことが、新型コロナウイルスの影響を受ける大きな要因ではないでしょうか。</p> <p>4月、内閣府男女共同参画局調査室の「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書」でも、女性に焦点を当ててわが国の課題を明らかにし、既存の制度や慣行の見直しを呼び掛けています。</p> <p>女性が、貧困から抜け出せない状況を改善していくためにできることを伺います。</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの女性への影響について</p> <p>(2) コロナ禍の女性への影響と課題について</p> <p>ア 女性に焦点を当てた課題は。</p> <p>イ 既存の制度や慣行の見直しは。</p> <p>(3) 女性の生活困窮に対する施策について</p> <p>ア 本市の実態は。</p> <p>イ 女性が一人でも無理なく生きていくために必要な施策は。</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>2 学校の未改修トイレの改善を（30分）</p> <p>鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画（案）意見募集アンケートが、8月31日まで延長して実施されました。議会も今年度の議会報告会のテーマを、本計画案への市民意見収集に絞って企画しました。</p> <p>本市の公共施設は、人口が急増した同時期に建てられたものが多く、老朽化も同時期になってしまいます。適正な維持管理により公共施設の長寿命化を図る中、小・中学校13校のトイレが洋式化されました。</p> <p>「汚い」、「臭い」、「暗い」などと言った理由で、学校のトイレに行きたがらない児童・生徒もいることから学校教育の環境整備のためにトイレ改修工事を進めました。改修工事は、2つある系統の片側だけで終了しました。</p> <p>最近、保護者から改修されていないほうのトイレについて、悪臭についての訴えと改修の問合せをいただきました。</p> <p>去年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的に、公園も感染症に強いトイレになっています。</p> <p>コロナ禍で、トイレ掃除を外部委託する自治体も出てきています。</p> <p>教育委員会では、こういったクレームを把握されていると思います。が、古いままのトイレについてどのように対応しているのか伺います。</p> <p>（1）未改修トイレの実態について</p> <p>ア 保護者からの意見は。</p> <p>イ 子どもたちのトイレ清掃の意義と現状は。</p> <p>ウ 排水管の清掃の状況は。</p> <p>（2）未改修トイレの改善に向けて</p> <p>ア 排水管清掃の頻度は。</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染拡大防止の視点からの清掃委託についての市の考えは。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>